

# 夜間保育

平成27年

9月1日 発行  
2015-①

発行責任 全国夜間保育園連盟 会長 天久 薫  
編集責任 大阪市東淀川区豊新3-25-5 豊新聖愛園  
全国夜間保育園広報担当 草場加奈子  
電話 06-6325-2405 Eメール info@zenyahoren.jp

今回、平成27(28)年度の連盟会長に再任されました。「新制度には新会長で」との思いはありましたが、連盟傘下の若手有望園長は、各法人内の異動でどんどん去っていく状況では、組織の新陳代謝は思い通りには進まず、再任と相成りました。しかし、役員はかなり交代し、次に引き継ぐ準備は進めています。

さて、平成27年4月、子ども・子育て支援新制度(以後「新制度」という。)がスタートしました。そこで、夜間保育と新制度について、現状を述べてみます。

第一に、夜間保育が施設型給付内に留

まったことは、とても良かったと思います。新制度の計画の初期の段階では、「夜間保育の機能は残るが、夜間保育園は残らない」と言われていました。そこで一番可能性が高いと考えられたのは「夜間保育は延長保育に吸収される」でした。しかし、結果的には夜間保育は国の管轄下に、延長保育は市町村の管轄下に置かれました。

よってこの条項が削除され、保護者の『月単位の労働時間の長さ』が新基準となりました(子ども・子育て支援法施行規則第1条)。法令上も昼間労働と夜間労働との差はなくなり、従って昼間保育園と夜間保育園の差もなくなりました。昼間保育園も夜間保育園も同じ保育園です。よって、昼間保育や昼間保育園は望ましいが、夜間

## 夜間保育と子ども・子育て支援新制度

### 全国夜間保育園連盟

会長 天久 薫

今後、市町村の権限はますます強くなり、市町村よりは国のほうが夜間保育に対する理解があると思われる現状の中では、国の管轄下にいたほうがまだ夜間保育は安定すると思われれます。

第二に、これまで保育所の入所基準として、保護者の『昼間労働』が児童福祉法施行令第27条に明記されていましたが、新制度の施行

保育や夜間保育園は望ましくなくなど、法令上も言えなくなりました。昼間保育が望ましいなら夜間保育も望ましい、夜間保育が望ましくなくなら昼間保育も望ましくないので。

第三に、これまで別途補助金として出ていた夜間保育推進事業(一園当たり年額2526千円)が、法定価格の夜間保育加算に繰

り入れられ、認可夜間保育園全国に給付されることになりました。金額的には、新夜間保育加算は、これまでの夜間保育加算に夜間保育推進事業分が上乗せされた額になっています。この合算は、自治体の都合で夜間保育推進事業の補助金の出ていなかった夜間保育園のために、以前から厚労省に要望していた事項でしたので、良い結果となりました。但し、定員を満たさないといこれまでの満額にならないのは、加算の性質上やむを得ないことです。

第四に、子ども・子育て支援法第60条に基づき『基本指針』が策定されましたが、その中に「市町村は、…夜間の保育が必要な子ども等特別な支援が必要な子どもが円滑に教育・保育等を利用できるようにするために必要な配慮を行うとともに、市町村、都道府県及び国は、必要な支援を行うことが求められる」との文言があります。今後、各園が単独で市町村や県との交渉に臨む時は、できるだけ有

効に活用してください。

第五に、夜間保育園でも幼保連携型認定子ども園に移行できることになりました(厚労省保育課にも確認済み)。これは、認定ことも園への移行の意思の有無にかかわらず、教育の観点からも、夜間保育園は昼間保育園とも幼稚園とも同等になれるという証拠でもあります。認定ことも園への移行可能は、上記第二と同様に、夜間保育園にとっても歓迎すべき事態である思っていました。この原稿を書いている本日8月1日現在、移行を希望し申請したのに、幼保連携型認定子ども園に移行できた園と、移行できなかった園が出現しています。詳細のほどは不明ですが、「教育時間をどう設定するか」「1号認定児童を含め、バラバラでなく集団での教育が可能か」等が県市側の論点のようです。「そもそも移行は条件付きなのか」から考えなくてはなりません。

しかし、「夜間保育に学校教育

は可能か」は新たな命題です。「夜間保育とは、夜間のみ保育することではなく、夜間まで保育することである」ことを周知徹底し、今や権限の増大している県や市の理解を得なければなりません。

新制度上の新たな課題は、連盟内部の知恵を出し合い、乗り越えていきましょう。

それではこの2年間、よろしく  
お願いいたします。

## 《夜保連新体制の展望》

### —副会長の役割—

時代はめぐる。

北九州小倉の初夏。毎年小倉北ふれあい保育所の年長児は小倉祇園太鼓競演会に参加している。少年の部は小学生からという規定通りに幼児は企業等の団体に混じって一般の部の出場である。今年82団体の出場があり、多くの観光客や応援の中、審査員の前を通る巡行を行った。炎天下の「どんこ、どんこ」と小倉城大手門広場に祇園太鼓の音色が響き渡る暑い一日だった。

保育所で祇園太鼓を指導するようになったのは昭和60年、神岳第二保育園開所3年目の春のことである。

最初に祇園太鼓に参加した年長児はもう30歳を超える年齢になっている。今年の本祭りでは、小倉の街中を巡行する山車に、太鼓を打つ姿の卒園児が多く見かけるよ

うになった。青年になった卒園児は、後世へ伝える人材へと成長していた姿だった。感慨深く嬉しい夏の思い出であった。思えばアメリカから戻ったばかりの私が、諸先輩の指導を頂きながら夜間保育に関わり30年が過ぎた。保育士(母)資格第1号であった青年も、すっかり白いひげの…というわけである。

新体制について

今年度より天久会長をはじめ、桑原事務局長、そして役員監事の方々12名の新体制でスタートとなった。事務局は、これまで1施設で担っていたが、業務を分担する二つの部会が加わることとなった。一つは、経験交流会を中心とした研修の企画運営を担当する「研修部」。もう一つは、機関紙を主として夜間保育を深く知ってもらうための情報発信を担当する「広報部」である。既に研修部は今年度の経験交流研修会に向け準備を進めており、広報部は



HPやブログの発信、機関紙の編集に取りかかっている。研修会での再会を楽しみにしていただきた

い。これまで忙しい保育所運営を続けていの中で事務局を引き受けていただいていた先生方に敬意を表すと共に感謝の意を表したい。

今年度より、私自身、思いがけず全国夜間保育園連盟で副会長の

大役を拝命することとなった。前任の枝本先生は情熱にあふれ、そのまなざしはいつも弱い立場の子どもやおとなに向けられていた。

枝本前副会長には遠く及ばないが、保育に対する情熱は静かに燃やしている。指導を仰ぎながら今後はお役に立てるよう精進する所存である。

今後の展望……

夜間保育実施園は自治体や地域により、抱える課題や問題も多様である。各園の現状を園長会等で把握し、連携を取り合って行政へ働きかけていくことが今までより

以上に必要となるのではないかと

貧困、気になる子、子どもと子育て家庭を取り巻く環境は深刻化し、保育士等は重責を担わされている。長時間保育や夜間保育を支える人材の育成は保育の質向上につながる、ひいては保育士等の働きやすさ、離職率の歯止めとなるのではないかと。経験交流大会や研修会を通して現場で働く保育士等を支えることはできないだろうか。広く夜間保育について発信していく方法は……と様々な考えが頭をめぐる。

夜間保育所に関わって30数年、私の園自身も時代の波を受け、変化を繰り返してきた。昭和57年、自宅を改築して始まった夜間保育(神岳第一保育園)。平成11年委託保育所として市の複合施設への夜間保育所移転、園名を小倉北ふれあい保育所(夜間部)に変更。平成19年指定管理者制度導入による委託変更となった

変わらないもの

2019年小倉祇園太鼓は400周年を迎える。小倉祇園太鼓には3つの役がある。「ジャンガラ(すりかね)」の音に合わせ「ドロ」が低い音でリズムを刻み、「カン」がメロディともゆうべき高い軽やかな音を出す。複数の打ち手が音を感じ、「うた」と間を合わせながら五穀豊穰・無病息災を願う。私達夜間保育園連盟は、子どもと子育て家庭、保育者の幸福を願い、天久会長のリードのもと打ち手の私達が「できることを」「できるところから」絶妙なチームワークで集い、考え、学び合い、発信、行動していくことを今後も継続していきたい。みなさまの協力をよろしく願います。

北九州市 小倉北ふれあい保育所  
(夜間部) 所長 酒井 義秀

《夜保連新体制の展望》

―事務局を引き受けて―

この度、新しく事務局を仰せつかりました島地シテイ夜間保育園の桑原です。当園は日本の西の端、長崎県佐世保市に所在し、県内では唯一認可された夜間保育所として当連盟に加盟し、法人内では他にも幼保連携型認定こども園や障がい児(者)支援の施設・事業を行っております。今までは全国夜間保育園連盟において研修会や会議に参加する側の立場でしたので、連盟運営に関して分からない事ばかりですが、役員の先生方、旧事務局の先生方にご指導頂きながら大役を務めさせて頂くこととなりました。加盟園の先生方にも何かとご迷惑をお掛けするかと存じますが、微力ながらも連盟の運営、発展に寄与できるよう努力したい所存でございますので、今後とも宜しくご指導下さい。

さて、新体制となり、今まで事務局で一手に担って頂いておりました『研修部』『広報部』が分離独立し、それぞれの部で今年度の

活動が既に始まっており、『研修部』では、今回で27回目となります。『全国夜間保育園経験交流研修会』を東京・新宿で平成28年2月に開催する予定です。制度が新しくなり、『夜間保育を専門的に行う施設(事業)』として認可(認定)を受けた施設』という一定の認可基準が出されましたが、それ以外にも様々な形で夜間に保育を必要とする子ども達への支援に取り組んでいる全ての仲間が全国から集い、現場の先生方の充実した学びの場となる研修会です。

また、『広報部』では、機関紙、ホームページ、ブログの作成・運営を行います。社会情勢の変化により、積極的な情報発信が求められるようになりました。当連盟の広報部の活動も、会報としての役割だけではなく、関係機関や一般の方々へ広く夜間保育の重要性と専門性の高さをアピールできるツールとなるよう、今年度から新しい取り組みが始まります。夜間保育の社会的認知度を上げ、より充実した夜間保育事業を行うこと

は、夜間に保育を必要とする子ども達への手厚い支援へとつながります。加盟園の皆様のご協力により、今まで以上に質の高い広報へと進化していく予定です。

かく言う事務局としての私は、「年会費の管理だけでいいから」と言われて引き受けたものの、幅広い業務の多さに既に頭の整理がつかずにあります。事業を運営するということは複数の物事を整理しながらコツコツとこなす能力が大事なんだなあと早くも実感しつつ、自分の処理能力の低さに反省する日々です。今後は事務局の業務を通して諸先輩方と接する機会を得て、勉強させて頂きながら、自分の運営能力の基礎力を高めていきたいと鼓舞しておりますので、叱咤激励のほど宜しくお願い致します。

佐世保市

島地シティ夜間保育園

園長 桑原 静香

## ★【広報部】

### 《夜保連新体制の展望》

今年度役員の改選が行われ、その中で広報部が誕生しました。

主な活動は、『夜保連ホームページ』の管理、機関誌『夜間保育』(年3〜4回)の発行、『夜保連ブログ』でのミニ情報等、夜保連各園の職員の皆様やより多くの人たちに夜間保育園の活動に興味を持っていただけるような中身にしていきたいと思います。

昨年、私が経験したことは、『ネットシッター』と言う言葉。そして、シッターに預けられた子どもの死亡事故がマスコミ等々で取り上げられ全国的に話題になったのも記憶に新しいと思います。とても残念で仕方ありません。悲しいかなベビーホテルや託児所で事件が起きるとマスコミは、「認可された夜間保育所があるのを知らなかつた。是非に取材させてほしい。」と言ってくる。毎回こうした子どもの事件・事故が起きるたびに耳にするセリフです。

嫌味のように「マスコミは、子どもが亡くならないと夜間保育所を取材に来ないですね。」と。本当に事件が起きるたびに幾つもの新聞社・テレビ局の取材を受けてきました。これも夜間保育所の存在を知ってもらいたい思いで取材を受け、夜間保育所の存在を伝えてきたつもりなんですが、マスコミも含め、「人の記憶(噂)も75日？」でしょうか。

大阪で言うと「もう少し夜間保育所頑張らなあかんでえ〜。」と言う心境ですわ。

地域格差はあるものの全国の夜間保育園が頑張っている姿をもつとアピールしないといけません。是非、全国版、ローカル版、それぞれ地域で取り上げられた夜間保育所ならではの情報も皆様と共有出来るように伝えていきたいと思えます。近々で、貴園が取り上げられた新聞の切り抜きなどがありましたら、広報まで、お送り下さい。

(豊新聖愛園 草場 加奈子)

## 《夜保連新体制の展望》

### 【福祉の原点を見つめる】

『東京大会の会場が西新宿に決まりました。』

暑い日が続きますが、皆さまお元気で過ごしていきましょう

今年度、第二十七回全国夜間保育園経験交流研修会を東京にて担当することになりました、エイビイシイ保育園の片野です。

現在、二月二十七日、二十八日の大会に向けての準備に入り、慌ただしい日々を過ごしています。これまで過去二回、東京で開催した経緯はありますが、今年度は、子ども・子育て支援新制度となり、改めて東京の新宿で開催することの意義を考えてみたいと思いましたが。

三十数年前、社会現象としてのベビーホテル全盛期、中でもベビーホテルが一番多かった新宿で、エイビイシイ保育園は誕生しました。国の夜間保育制度も始まったばかりの時代でした。

今、改めて『福祉の原点に立ち

戻り』夜間保育を必要とする親子の幸せを夜間保育に携わる皆さまと一緒に考え、東京・新宿での開催を成功させたいと思っています。

どうぞ、会員の皆さま及び夜間保育に心を寄せてくださる皆さまのお力をお貸しください。来年二月、東京でお会いしましょう。

エイビイシイ保育園

園長 片野 清美

## 《夜保連新体制の展望》

### 広報部の展開

この度、全国夜間保育園連盟の役員に任せられ、広報を担当させて頂いたことになりました。

私自身、わからないことばかりで、このような大任を担うことができるか不安で、皆様にご迷惑をお掛けすることになると思いますが、少しでも夜間保育園の発展に関わっていただけるように皆様からご指導をいただき、学んでいきたいと思えます。

今まで、経験交流会や園長総会などで皆様から、各園それぞれ地域性や保育内容等が異なり、さらに、子ども・保護者の置かれている環境も違う中で、子育て家庭のニーズも理解しながら、創意工夫し、夜間に保育が必要な子どもたちや家庭のため、尽力され、保育園を運営されていることを学ばせていただいていますとともに、自らの励みとさせて頂いていただきました。

そして、夜間保育園の成り立ちから今まで培ってきた役割を踏ま

え、保育園を取り巻く変化に対応し、皆様と連携を密にして、将来の日本を築いてくれる子どもたちを育みたいと思います。

今後も、夜間保育園がその社会的役割を果たしていく中で、全国夜間保育園連盟の会員園が一緒に力を合わせて、課題などに取り組みため、各園から情報を沢山提供していただき、それらの情報を出るだけ詳しく皆様にお知らせして、より一層会員園の交流を深めるとともに、対外的には、夜間保育の重要性とその内容を広く社会にアピールできるように、広報がその一端を担えるように努めたいと思っています。

何より、子どもたちの健やかな成長と家庭への支援ができるように、そして、全国夜間保育園連盟及び会員園のますますの発展を願っています。

至らない点が多くあると思いますが、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

京都市 こばと夜間保育園

理事長 橋本 達



## 《夜保連新体制の展望》 —広報の役割—

この度、広報部の役を頂きまして、ためぐみ保育園の次田正明と申します。

ためぐみ第二保育園は岡山県岡山市東区にある夜間認可保育園です。

昼のためぐみ保育園と併設しており、一緒に保育を行っております。

保育方針として、自然に恵まれた環境を十分に生かし、その中で自主的、自発的な活動意欲を高めながら全面发展を促しています。又、明るく、健やかに、みんなと仲良くあそべる子、つよいからだ、ありがとうといえる子を目指し日々保育をしております。

私達が今、夜間保育を行う上で取り組まなければならないことは、保護者のニーズに応じることだけではなく、子ども達に昼型のリズムをしっかりと保育園でも身につけていくことも必要なことだと思っております。そこで保護者の方にも、お話をさせていただき、生活リズムの習慣づけに向けてご理解ご協力を頂いています。

定員は夜間30名、昼28名の合計150名、開所時間は前延長を入れると、朝7時～夜の10時まで、保護者の方が迎えに来られるまで、友達と先生とが家庭の様な雰囲気の中であそんで待っています。

岡山県の県南は待機児童が多く又公立保育園も多い所です。28年度からは昼のためぐみ保育園、夜のためぐみ第二保育園は共に認定こども園に移行して更なる子育て支援を行い、充実に努力致して参りたいと考えております。

そうすることによって、子どもの幸せ、職員の労働意欲に少しでも貢献出来ればと考えております。

これからは広く皆様のご意見を頂きながら、お役に立てるように微力ながら精一杯頑張りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

ためぐみ第二保育園

園長 次田 正明

## 《信ヶ原千恵子先生在職66周年を祝う会に伺いました》

6月7日、全国夜間保育園連盟

顧問の信ヶ原千恵子先生(京都・だん王保育園園長)の《在職66周年をお祝いする会》が、京都市リーガロイヤルホテルで開かれました。連盟会長の天久先生が出席され、祝辞を述べられました。

だん王保育園は、制度が整備される以前から夜間保育を開始され、その時からずっと千恵子先生は、その保育に携わってこられました。その当時に夜間保育を受けられた俳優の近藤正臣氏もかけつけられ、千恵子先生を守る騎士のように寄り添っておられたのが、印象的でした。



## 《保育所訪問》

福岡市博多にある、第2どろんこ夜間保育園で「27年度第1回役員会」が開催され、五月に竣工したばかりの新園舎を、新役員の方々と一緒にみせていただきました。第2どろんこ夜間保育園は、

どろんこ保育園と併設で、博多でも有数の観光名所で繁華街のキャナルシティの懷に抱かれたような場所にあります。街中のモダンなホテルや劇場に囲まれ、中でもひ



ときわモダン！通りを歩いている観光客が、思わず立ち止まって写メ撮ってしまう、近未来建造物を思わせる白い螺旋階段、内装は子どもたちの活動線に合わせた心配りがされていて、都会のオアシスという感じです。



## 平成27・28年度全国夜間保育園連盟役員名簿

\*天久薫(会長留任)

第2どろんこ夜間保育園

(社会福祉法人四季の会・福岡)

\*酒井 義秀(副会長新任)

小倉北ふれあい保育所(夜間部)

(社会福祉法人正善寺福祉会・北九州)

\*桑原静香(役員新任・事務局)

島地シティ夜間保育園

(社会福祉法人蓮華園)

\*片野清美(役員留任・研修部)

エイビイシー保育園

(社会福祉法人杉の子会・東京)

\*金子玲子(役員留任・研修部)

もんもん保育園

(社会福祉法人徳栄会・神奈川)

\*棚本宮子(役員留任・研修部)

けいわ星の子保育園

(社会福祉法人敬和会)

\*草場加奈子(役員新任・広報部)

保育所豊新聖愛園

(社会福祉法人路交館・大阪)

\*道林信郎(役員留任・広報部)

野町夜間保育園

(社会福祉法人野町保育園・石川)

\*橋本 達(役員新任・広報部)

こぼと夜間保育園

(社会福祉法人曙会・京都)

\*次田正明(役員新任・広報部)

めぐみ第二保育園

(社会福祉法人旭東愛児会・岡山)

\*廣本孝夫(監事留任)

千代保育園

(社会福祉法人あかつき会)

\*堀井隆栄(監事新任)

第2やくおうえん

(社会福祉法人薬王園保育所)

## 連盟顧問の先生方

\*信ヶ原千恵子先生

だん王保育園園長

\*山縣文治先生

関西大学教授

\*櫻井慶一先生

文教大学教授

\*安梅勅江先生

筑波大学教授

## 《平成27年度全国夜間保育園連盟園長総会 報告》

去る5月12日、東京の八重洲ホールで、平成27年度全国夜間保育園連盟園長総会が開催されました。

今年4月から、子ども・子育て支援新制度が実施され、全国に散在する夜間保育園は、改めてその存在意義を問われることになりました。

30有余年に渡り、夜間に保育を必要とする親子に寄り添い、保育をしている我々にとって夜間に及ぶ保育は、**「自明の理」**で今更説明を要する事ではありません。しかし、若い行政担当者や幼稚園・昼間保育の関係者にとって、夜間保育所の**「教育」**の所在や、2食食べる子どもたちへの配慮など、いまだに理解の外にあるようです。今、改めて、私たちは夜間保育所を知らない多くの福祉関係者に向けて、夜間保育所の保育を発信するとともに、

全ての子どもたちの未来を展望することが、その役割であることを参加者全員で確認しました。

又、今年度は連盟役員の見直しに当たり、連盟組織の運営も含め、大幅に変わりました。これまで事務局で一括していた、研修会準備や広報活動を事務局から分離し、担当役員がグループでこれに当たるという方式で運営することになりました。新しいやり方に戸惑いもありますが、全国夜間保育園連盟の新たな道筋にご支援、ご協力をお願いします。

## 《お知らせ》

\*第27回全国夜間保育園経験交流研修会・東京大会のご案内

\*テーマ…福祉の原点を見つめる

\*日時…平成28年2月27日(土)

28日(日)

\*会場…ベルサール新宿グラン ドホール(東京都新宿区)

\*ご案内は11月初旬になります。お早めにご予定ください。



## ★編集後記

今年度から広報を担当します。せっかくの広報担当ですので、お仲間の園を『訪問』と言う名目で、日本1周をするのが夢です。

制度が変わり、連盟の中でも『幼保連携型認定子ども園』に移行された園もありますので、いろいろな情報も集めていきたいと思っています。市町村・地域ニーズも違います。なるべくなら明るい情報提供を出来るといいなあ。

広報部担当 草場加奈子

昨年度まで事務局を担当していましたが、漸く解放され、今年度から機関紙の編集のみ担当することになりました。

『夜保連』にかかわって30年以上が経ちました。子どもたちの未来の希望に輝く笑顔が見たいから…微力ですががんばります。

機関紙編集担当 岡戸淳子